

特別企画

障がい者スポーツと総合型クラブ

〔NPO法人 あいずみスポーツクラブ〕 ＜徳島県板野郡藍住町＞

地域スポーツクラブへの障がい者スポーツの導入について、2016年のブロック別クラブネットワークアクション（NWA）で情報提供を行っておりますが、参加できなかったクラブも多数いらっしゃるかと思います。

そこで今回は、障がい者スポーツを導入しているクラブの事例紹介をいたします。



1 クラブ概要

藍住町教育委員会・体育指導員（現スポーツ推進委員）が運営する5つの教室（障がい者、女性、シニア、ジュニア、親子）を主として平成16年に設立しました。

会員及び地域住民に対し、スポーツ活動の普及振興を図るとともに、生活習慣病等の予防を目的とした業務を行い、誰もが運動習慣等を身につけ、健康で明るく生きがいのある豊かなまちづくりに寄与することを目的にしています。

2 教室内容・実施までの経緯

町民スポーツニーズ調査の結果を受けた話し合いにより、すべての町民がスポーツ活動に参加できるように「障がい」を持つ人のスポーツ教室をつくらうという意見がありました。障がい者スポーツ指導員・レクリエーションインストラクター・スポーツボランティア等呼びかけ、障がいのある人・障がいのない人が共にスポーツやレクリエーションの楽しさを体験し、ふれあいを高めることを目的とした「障がい者ふれあいスポーツ教室」を実施しています。

「障がい者ふれあいスポーツ教室」は、クラブ設立前に教育委員会が運営していた教室を引き継いで行っています。この教室は、隔週（1回につき1時間30分）で開催し、ソフトバレー、囲碁ボール、ラージボール卓球、ドッチビー等のニュースポーツを行っています。参加者は知的障がいのある方が多いのですが、身体障がいのある方もともに参加されており、障がいや年齢に応じて、それぞれができる範囲で参加をしています。教室実施にあたっては、ニュースポーツを実施するのに必要な用具のみ準備しており、特に障がい者スポーツだからといって、特別なものを準備しているわけではありません。

また、「障がい者ふれあいスポーツ教室」とは別に、運動指導と栄養指導を行っています。これは、障がい者施設より依頼を受け、障がい者が抱えている問題の1つである運動不足の解消を目的とし、肥満傾向にある人たちを対象にしています。運動指導では週に1回、参加者のニーズを聞きながら興味のわく継続しやすいものとして、歩くことからバドミントンやバスケットボールまで行っています。栄養指導では健康状態を把握し、カロリーの取り方や、調理実習で野菜の切り方・味付けの工夫等を丁寧に指導しています。

3 地域への影響

障がい者がスポーツ教室に参加することにより、声を掛け合うなど、お互いにふれあいが多くなりました。障がい者の活動範囲が広がりを見せると共に、障がいのない人の障がい者に対する理解が深まり双方にとって良い変化が現れました。

4 今後の課題・展望

まずは障がい者が積極的にイベントに参加していくよう働きかけています。その次に一つのブースを障がい者が運営し、最終的にはイベントの企画・運営に関わっていけるようになればと考えています。

障がい者スポーツを推進していくには、指導者の育成が必要になります。研修会等を多数開催するなどして、理解を深めることによりふれあいが増えます。

総合型地域スポーツクラブも設立後10年を超えるクラブが増えてきました。役員やクラブに関わる人達の世代交代の時期にきています。「創るより継続が難しい」と言われるように、まずは主催者側が楽しむことを忘れずに、創設時の「思い」を継続し、進化する事に挑戦していきたいと思います。

（あいずみスポーツクラブ
クラブマネジャー 住田 瑞子）

クラブプロフィール

設立年月日：平成16年10月 あいずみスポーツクラブ設立
平成19年10月 NPO法人格取得

所在地：徳島県板野郡藍住町

運営：会員数：1637名（平成28年7月現在）
予算規模：19956千円（平成28年度）

有給職員：11名

クラブ内資格：障がい者スポーツ指導員、健康運動指導士、
保有者数 健康運動実践指導者、レクリエーションインストラクター

特徴：幼児から高齢者まで幅広い年齢層に加え、切れ目なく参加できる
教室を展開しています。

■ 連絡先

郵便番号	771-1251
住所	徳島県板野郡藍住町矢上字原230-1
TEL & FAX	088-692-5000
Eメール	ai-sport@mxi.netwave.or.jp
ホームページ	http://wwwi.netwave.or.jp/~ai-sport/